

東京都小学校国語教育研究会研究主題

他者と協働し、豊かな言語生活を実現する国語学習

—「言葉による見方・考え方」を働かせる学びをつくる—

書くこと部 研究主題

児童の深い学びを目指す、主体的・対話的な書くことの単元づくり

第2学年国語科学習指導案

単元名 まとまりに分けて、お話を書こう

～人形でのやり取りを生かして、楽しんで作ろう～

学習材名「おはなしの作者になろう」(光村図書 2年下)

日 時：令和5年12月7日(木)5校時

児 童：府中市立府中第六小学校 第2学年2組 32名

指導者：府中市立府中第六小学校 主任教諭 木村 千恵

1 単元の目標

- 身近なことを表す語句の量を増やし、文章の中で使うことができる。[知識及び技能(1)オ]
- ◎自分の思いや考えを明確にして、事柄の順序に沿った簡単な構成を考えて書くことができる。
[思考力、判断力、表現力B(1)イ]
- すすんで文章を書き、友達と書くことを楽しむことができる。[学びに向かう力、人間性等]

2 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
単元 の 評 価 規 準	○身近なことを表す語句の量を増し、文書の中で使っているとともに、言葉には意味によって語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 ①主語と述語の関係に気を付けて文章を書いたり、身近なことをあらかず語句を増やし、文章の中で使ったりしている。	○簡単な構成を考えることで、自分の考えが明確になっている。(B(1)イ) ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現の良いところを見付けている。 ①絵や人形から中心人物や出来事を具体的に想像している。 ②自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えたり、まとまりが分かるように書き表し方を工夫して書いたりしている。 ③友達と互いの考えを伝え合い、自分や友達の考えの良さを認め合っている。	○粘り強く、事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって楽しんで物語を書こうとしている。 ①学習の見通しをもって取り組んだり、友達とのやりとりを生かしたりして、楽しみながら書いている。 ②学習したことを基に、相手意識をもって分かりやすく書いている。

3 単元構想

(1) 児童について(児童観)

6月「こんなもの、見つけたよ」では、町探検の中で見つけたものや気付いたことをメモし、気になったことを町の人にインタビューしたりインターネットで調べたりして、学級の仲間に簡単に報告する文章を書いた。また、9月説明的文章「どうぶつ園のじゅうい」の読むことの単元学習の終わりには、時間の順序に気を付けて自分の1日の学校生活を家族に紹介するリーフレットを書いた。ともに、「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに分けて書く学習を行った。しかし、まとまりごとに授業時間を分けて学級で書き進めたり、ページごとに書くことを指定して書かせたりした。そのため、児童がまとまりを意識せずとも、結果的にまとまりに分かれた文章になっていた。日常的な書くことの学習の取り組みとしては、毎週末テーマに沿った作文を書き、朝の時間を用いた3分間の単作文を書く学習を行っている。書くことに慣れ、文例を参考にしながらすすんで書くことができる児童がいる一方で、書く内容を決められずに困ってしまう児童や主述のねじれ等の記述に課題がある児童がいる。

また、話すこと・聞くことの領域の学習「あったらいいな、こんなもの」では、友達と質問をし合って、あったらいいなものなどをくわしく考えた。自分一人だけではあいまいだった考えを、友達とのやりとりを通してはっきりさせたり、くわしくさせたりする児童が多かった。更に、7月物語文「スイミー」では、単元ゴールとなる言語活動を選択する単元学習を行っている。1単位時間ごとに、日記やペープサート、物語の続きを書くことや音読劇などの言語活動で学習をまとめ、単元学習の終末において、自分のお気に入りの場面を、お気に入りの言語活動で表現する学習を行った。国語への意欲や能力の個人差が大きい学級だが、友達と楽しんでやり取りをしたり、自分で学びを選択したりする場面を増やすことで、高い意欲を維持し、能力の向上を目指すことができる児童が多くなるのではないかと考えた。

(2) 学習材について(学習材観)

本学習材「お話のさくしゃになろう」では、「はじめ」「中」「おわり」の3つのまとまりを意識して文章を書くことを学ぶ。教科書の3つの絵を見て分かることから想像を広げ、どんな出来事が起こると面白いかを考えたり、登場人物の名前や性格を設定したりと、自由にイメージを膨らませる楽しさを味わわせたい。また、想像したことを分かりやすく組み立て、くわしく言葉で表現する技能を意欲的に学ぶことができる題材である。相手に分かりやすい文章にするにはどうしたらよいかを意識して書く学習を通して、一文を短くしたり、「だれが何をしたか」という主語と述語をはっきりさせたりする等の書き方の工夫に気付かせたい。さらに、仲間と交流する時間を設けることで、自分や友達の考えの良さを認め合う経験ができる。互いの文章を読み合うことで表現の良さに気付き、自分の考えを広げるきっかけとなると考える。

(3) 単元について(単元観)

本単元の目標「自分の思いや考えを明確にして、事柄の順序に沿った簡単な構成を考えて書くことができる。」を達成するために、「はじめ・中・おわり」の構成を意識して一気に書き上げることができるよう単元を構成した。本単元では、お話のイメージを膨らませるために、「はじめ・中・おわり」の背景の順に、お話の登場人物である2人の粘土人形を動かす活動を設定した。粘土人形は、お話の登場人物2人を想像して図工の時間に児童一人一人が作るものである。「はじめ・中・おわり」のそれぞれの場面の背景の絵は、教員が用意する。特に「中」は、4種類の場面から児童が選べるようになっている。「はじめ・中・おわり」の背景に合わせて一人で粘土人形を動かしながらお話を考えることで、児童はイメージを膨らませながら、いくつもの設定やストーリーを考えることができる。また、二人組になって人形を動かしてやり取りをしながらストーリーを進めていく中で、自然と会話が思いついたり、自分が想像もしていなかったような展開が生まれたりするだろう。「はじめ・中・おわり」の背景を使って粘土人形を動かしながら何度もお話を考える中で、思いが明確になり、構成を意識して一気に書き上げることができる手だてになるだろうと考えた。

また「児童観」にも書いたとおり、本学級の児童は人との関わりが好きな傾向にある。そこで本単元では「生活科の時間に、1年生に自分の作った物語を紹介する」という、自分の作ったものを通して1年生と関わりがもてるような単元のゴールを設定した。「1年生」という相手意識、「書いたものを通して楽しんでもらう」という目的意識を児童がもつことで、書くことに対する意欲を高めることができるのではないかと、さらに、「どう書けば楽しんでもらえる物語になるだろうか」と、書き方の部分にも意識を向けられるのではないかと考えた。本単元は、児童が主体的に取り組めるよう、生活科、図工などと関連させた教科横断的な構成にしている。

4 書くこと部で捉える「言葉による見方・考え方を働かせる」とは

書くこと部では、「書くこと」の学習における「言葉による見方・考え方を働かせること」を、単元における言語活動を通して、課題を解決する際に育む言葉への自覚であると捉えた。

その上で、書くことにおける「言葉による見方」とは、知識・技能的な側面から、書きたいことを表現するために、語彙や文・文章、段落、文章全体に着目することと定義した。また、「言葉による考え方」とは、情報の扱い方の面から、情報を整理する際の概念としての考え方(比較・類推・因果・分類/分解・抽象化・具体化・系統化・一般化)であると捉えた。さらに、思考・判断・

表現的な側面から、書きたいことを見付けたり、書く対象を見つめ、表現したりすることとして、発想や着想を得ること、さらにそこから構想や連想を練ることであると定義した。

書く活動においては、この「言葉による見方」と「言葉による考え方」とを行き来しながら、単元の目標を達成することを目指している。

5 研究主題に迫るために

(1) 児童が(本単元において)身に付けたい力を自覚し、主体的に学習に取り組む。

●人形を実際に動かす活動の設定

- ・自分だけの物語への愛着をもたせるために、図工の時間を設定し、物語に登場する人物の人形を粘土で作る。
- ・人形を用いて、どのようなお話にするのかを具体的に考えることで、児童が人形を実際に動かして想像した場面を文字で表現したいという思いが高まると考える。
- ・人形という具体物を使い友達と話しながらお話を考える中で、言葉による見方・考え方を働かせることが実現できる。

●場面絵を児童が選択する

- ・はじめとおわりの場面絵は決まっているが、中の場面を空・野原・土・海という4種類から選択をする。
- ・色画用紙を用いて背景のように人形を動かす際にも活用する。
- ・場面を4種類に限定することで初めての創作文の学習でもできそうという気持ちをもって、取り組むことができる。また、想像を広げ、話の展開を考えやすくなる。

●振り返りチェックシートの活用

- ・一人一人の学習に合わせた振り返りができるように、選択方式に加え、記述でも振り返りができるようにした。
- ・次時のめあてを前時の振り返りと同時に考え、自分のめあてをたてる。そうすることで、見通しをもちながら、すすんで学習する姿勢を身に付けることができる。

●ゴールまでの見通し

- ・児童が選択する場面を増やすことで、書きたい思いを高めることができる。
- ・単元のゴールを児童と共に考え、選択することで、意欲を維持させ、判断力を養う。紙芝居、ペープサート、音読劇、パネルシアター、絵本など単元の終末の活動を選択させる。
- ・児童は、自らがやってみたい活動をどう工夫したらよいか主体的に考え、物語を作りたいという書きたくなる工夫につながることを期待できる。
- ・文例を提示することで、児童が見通しをもち、児童の書きたい意欲を高められると考えた。
- ・実の場では、学級の友達に見てもらいお話の良かった所をコメントしてもらう。
- ・相手に読んでもらいたい思いを高めるとともに、どうしたら楽しいお話を書くことのできるのかということに意識を向けることができる。
- ・「1年生へのお話会」を設定することで、自分の書いたお話が1年生にも理解できるように誰がどんなことをしたのか、どんな会話をしているのかということを確認にして書く意識も高めることが期待できる。

(2) 学習活動(言語活動)において、自らの考えをもち、多様な考えをもつ人と関わり、新たな考えをもつ。

●初めての創作文の学習であるため、選択したり、想像したりする場面を想定する。

- ・時間は固定して、一日の話とする。
- ・まとまりを作るために、場所の変化が起こるように、4か所から選択させることで、想像を広げやすく、話の展開が多様になる。
- ・知っている物語を模倣したり、その工夫を組み合わせていたりすることで、新しいアイデアを生み出す楽しさを感じる。
(中心人物の人柄調べ、お話の山場集め)

●3回の友達との交流

- ・1・2回目は、人形を操作し、友達に話し掛けながら一緒にお話を作っていく。
- ・3回目も1・2回目と同じ活動を通して、自分の書きたいお話を交流の中で作り上げていく。
→ 交流の中で、お話作りの楽しさを感じながら、自分の考えを広げ、高め、深める。

●児童の実態に沿った楽しい学習となるよう、児童が往還的に取り組める学習過程を設定する。

●絵や図、言葉を使って、想像した場面を表現し、相手と共有しやすくする。…グラレコ

●座席表型評価簿の活用

・座席表型評価簿に、児童の記録を基にした個人への支援を明示することで、児童一人一人の状況を把握して、指導・支援ができるようにする。

(3)獲得した言葉の力を日常生活に活用し、言語生活を豊かにする。

本単元を通して獲得できる言葉の力は、自分の思いや考えを事柄の順序に沿って書く力、楽しんで物語文を書くこととする力である。獲得した力は、日常生活の次のような場で活用することができる。

○1年生へのお話会

書いた物語を1年生に読み聞かせて楽しんでもらう。「おもしろかったよ。」「また聞かせてほしい。」などの感想をもらうことにより、児童は「書いてよかった。」「また書きたい。」と実感することができる。それが、書くことの次への意欲につながる。また、お話会をきっかけとして、1年生との言葉でのやり取りが日常生活へも広がっていくことも期待できる。

○物語を書いて楽しむ、読んで楽しむ

物語を書く楽しみを知った児童は、日常生活でも物語を考え、ペープサートや絵本や紙芝居などで表現して楽しむことができる。また、自分の思いや考えが形となって残るので、達成感を味わうこともできる。完成した物語を友達や家族と一緒に読んで楽しみ、「おもしろかったよ。」「楽しませてくれてありがとう。」「次はどんなお話ができるのかな。」などの言葉をもらうことで、さらに、書くことへの意欲をもつことが期待できる。

○肝心帳

本学級では、書くことの学習を通して身に付けてきた「書き方のコツ」や「獲得した語彙」を、「肝心帳」としてまとめている。本単元で学んだことも、「肝心帳」に書き加えていくことで今後の言語生活へ活用していくことができる。

6 単元計画(全6時間)

過程 (次)	時	学習活動	○指導上の留意点	◆評価規準 ★評価方法
0 次		(●長期的なもの ◎短期的なもの) ●朝の時間を用いて、3分間の単作文を書き、書くことに慣れる。 ●毎週末にテーマに沿った作文を書き、学んだことを生かして書いたり、それを仲間と読み合ったりする。 ●給食や朝の時間に物語の読み聞かせを聞き、物語の展開の面白さに気付く。 ●書き方のコツや身近なことを表す語彙を「肝心帳」として集め、必要な時に参考にできるようにする。 ●絵本作り係が作った物語を読み、お話作りを身近に感じる。 ◎絵を見て、仲間と話しながら簡単なお話作りをする。		

第一次	1 課題の設定 情報の収集 内容の検討	1 既習の物語文の学習、読書経験を振り返り、題名と作者、お話の「はじめ」を結び付け、作者について意識する。	○「スミエ」「かえるくんとがまくんシリーズ」を紹介することで、様々な登場人物やストーリーがあること、身近な題材や面白い出来事の良さに気付かせる。	◆主体的に学びに向かう態度① 学習の見通しをもって取り組んだり、友達とのやり取りを生かしたりして、楽しみながら書いている。 ★登場人物シート ★チェックシート
		2 文例を読み、どのような力を身に付けたらよいか考え、単元のめあてを捉える。	○紙粘土の人形劇で文例を提示することで、見通しをもたせる。 ○文例を用いて、以下の点に気付かせる。 ・時間の順序で書くこと。 ・まとまりに分けて書くこと。 ・したことと言ったことを書くこと。 ・面白い出来事が起こる。	
		人形でやり取りしたことを生かして、まとまりに分けてお話を書こう。		
	3 「お話を書いて、1年生にお話会をして喜ばせる」という単元のゴールを知り、学習計画を確かめることで、見通しをもつ。	○物語、お話作りの約束を確かめる。 ・物語は、1日の出来事であること。 ・登場人物は、ねずみの二人。 ・「はじめ」「おわり」は野原で 「中」の場所は、自分でえらぶ。 ・1年生へお話会で作った物語を表現する方法は、自分でえらぶ。		
	【学習計画】 1 学習計画を立てる。 二人はどんなねずみかな。 ⇒紙ねん土で人形作り 2 どんなできごとがおこるかな。・・・場所をきめる。 3 ペアで人形をうごかして、組み立てメモを作る。 4 5 はじめ、中、おわりに分けて お話を書く。 6 クラスで読み合う。いいねを見つけて、かんそうを書く。 7 自分でえらんだ方法で、はっぴょうの じゅんぴをする。 8 1年生へお話会をする。ふりかえりをする。			
4 教科書の挿絵を参考に、登場人物はどんな人物か具体的に想像する。 ・名前 ・性別 ・性格 ・二人の関係	○これまでに学習した物語教材や、読書経験、実際の体験、見聞きしたこと等を想起させ、人物像や出来事の設定の参考にさせる。 ○野原に住むねずみ二匹を中心人物とし、二人を比べながら違いが出るように具体的に考え、メモさせる。 ○1年生を喜ばせるという、相手意識、目的意識をもって考えられるように促す。 ○2観点を3段階で自己評価させる。自由記述で、できるようになりたいこと等を振り返って書き、関連させて、次時の自分のめあてを立てるように促す。			
課外	1 面白い登場人物の人柄や出来事の設定を集める。	○情報の収集を行いたい児童だけ行う。		
図画工作	1 登場人物の粘土人形を作る。	○自分の考えた登場人物を、具体的に捉えたり、愛着をもたせたりする。		

<p>第二次</p> <p>2 情報の収集</p> <p>内容の検討</p>	<p>1 本時のめあてを確かめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">絵をもとに、どんなできごとが起こるか 考えよう。</p> <p>2 どんな出来事が起こるかを具体的に想像する。 ・身近な楽しい出来事 ・驚く出来事 ・不思議な出来事 ・あったらいいなと思う出来事</p> <p>3 想像したことを友達と伝え合い、自分の考えを広げたり、はっきりさせたりする。 (友達→全体→個人)</p> <p>4 想像した事柄の中から必要なものを選び、「中」の場所を決める。</p> <p>5 チェックシートを活用して振り返り、次時への見通しをもつ。</p>	<p>○これまで学習してきた物語や好きなお話の中では、どんな出来事が起こったか振り返らせる。</p> <p>○出来事の起こる場所を4つ(空、野原、水の中、土の中)から選ぶことを確かめる。</p> <p>○1年生を喜ばせるという、相手意識、目的意識をもって考えられるように促す。</p> <p>○背景の絵の上で粘土人形を動かし、出来事に関する想像を膨らませ、メモさせる。</p> <p>○背景の絵は、野原、空、水、土の4種類を用意する。B5サイズで4種類を貼り合わせて一人分とし、二人で合わせると絵が完成するような簡単なイラストを描いたものにする。やり取りを促す。</p> <p>○出掛ける、出会う、物を手に入れる、解決する、できるようにする、幸せになるなどのキーワードを板書し、出来事を整理して考えさせる。</p> <p>○友達とやり取りをして、互いの考えを認めたり、自分のメモに書き加えたりすることで、考えが広がるように促す。まねをして書いても良いことを伝える。</p> <p>○出来事シートの中から、選んだ場所、選んだ出来事に印をつけさせ、自分の考えをはっきりさせる。</p> <p>○今後も出来事シートに加筆したり、選んだものを変更したりして、改善していくとよいことを確かめる。</p> <p>○自己評価項目、自由記述を用いて、友達とのやり取り、書くことへの思い、できるようになったことを振り返ることができるようにする。更に、次時にできるようにになりたいことをめあてとして書かせる。</p>	<p>◆思考・判断・表現</p> <p>①</p> <p>絵や人形から登場人物や出来事を具体的に想像している。</p> <p>★出来事シート</p>
<p>3 構成の検討</p> <p>(本時)</p>	<p>1 本時のめあてを確かめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">ペアで人形のやり取りをして、お話を考えよう。</p> <p>2 隣同士で、交互にそれぞれの粘土人形を動かしてやり取りをする。</p> <p>3 人形のやり取りのモデルを見て、方法を確かめる。</p> <p>4 背景の絵の上で粘土人形を動かし、なりきってやり取りすることを通して、出来事や登場人物の行動、会話を詳しく想像する。(選んだ相手)</p> <p>5 組み立てシートを書き、「中」の写真を撮る。</p> <p>6 振り返りチェックシートを活用して振り返り、次時への見通しをもつ。</p>	<p>○前時の板書を提示する。</p> <p>○「やりたい」という児童の思いを尊重して、まずやり取りしてみる。その後、どのようにやり取りをすると、上手いか考えさせる。</p> <p>○児童のよいやり取りを示し、教師と児童のペアでやり取りのモデルを示す。</p> <p>○迷ったら、前時の出来事シートを読み返すこととお話を考えられるように促す。</p> <p>○質問を受けたり、提案を受けたりして、自分の考えを広げたり、はっきりさせたりする。</p> <p>内容の検討⇄構成</p> <p>○隣同士だけでなく、好きな相手を選んでやり取りすることで、目的を意識して相手を選び、意欲を維持しながら取り組めるようにする。</p> <p>○文例を示し、組み立てシートに書くことを捉えられるようにする。</p> <p>○はじめ、中、おわりで各1文程度ずつ登場人物のすることを組み立てシートに書く。</p> <p>○自己評価項目、自由記述を用いて、学習の方法、内容を振り返り、次時のめあてを書かせる。</p>	<p>◆思考・判断・表現</p> <p>①</p> <p>絵や人形から登場人物や出来事を具体的に想像している。</p> <p>★組み立てシート</p> <p>★写真</p> <p>◆主体的に学びに向かう態度①</p> <p>学習の見通しをもって取り組んだり、友達とのやり取りを生かしたりして、楽しみながら書いている。</p> <p>★組み立てシート</p> <p>★チェックシート</p>

<p>4 構成の検討 考えの形成・記述</p>	<p>1 前時の良い人形のやり取りを紹介する。</p> <p>2 本時のめあてを確かめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">はじめ、中、おわりのまとまりに分けて、お話を書こう。</p> <p>3 文例を読み、大まかな文章の組み立てを確かめる。</p> <p>4 まとまりを意識して、文章を書く。</p> <p>5 自分で書いた文章を音読し、推敲する。</p> <p>6 振り返りチェックシートを活用して振り返り、次時への見通しをもつ。</p>	<p>○3枚の写真を提示しながら、まとまりやそのつながりを意識する良さに気付かせる。</p> <p>○文例は、以下の構成であることを確かめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">はじめ:お話の設定、登場人物の説明、出掛ける。 中:出来事が起こる 終わり:家に帰る。</p> <p>○挿絵に前時の写真を用いた記述シーンに記入させる。</p> <p>○どう書いたらいいかわからなくなったら、友達に相談したり、人形を動かしたりして考えさせる。</p> <p>○文章の冒頭で内容を大まかに説明すると読み手に伝わりやすいことに気付かせる。</p> <p>○書き出しに迷う児童には、書き出しの文例を複数提示し、選ばせる。</p> <p>○音読し、誤字がないか、語と語、文と文とのつながりを確かめさせる。</p> <p>○自己評価項目、自由記述を用いて振り返り、次時のめあてを書かせる。</p>	<p>◆知識・技能① 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の表記、句読点の打ち方、かぎの使い方を理解して使っている。</p> <p>★記述シート</p> <p>◆思考・判断・表現② 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えたり、まとまりが分かるように書き表し方を工夫して書いたりしている。</p> <p>★記述シート</p> <p>◆主体的に学びに向かう態度① 学習の見通しをもって取り組んだり、友達とのやり取りを生かしたりして、楽しみながら書いている。</p> <p>★行動観察</p> <p>★記述シート</p> <p>★チェックシート</p>
<p>5 考えの形成・記述</p>	<p>1 分かりにくい文例を読み、分かりやすく書く必要性に気付く。</p> <p>2 本時のめあてを確かめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">分かりやすく書くポイントを生かして、お話をよりよくしよう。</p> <p>3 学級で改善策を考え、文例を書き換えることで、分かりやすく書く工夫に気付く。</p> <p>4 分かりやすく書く工夫を確かめ、加筆したり、題名をつけたりする。</p> <p>5 音読し、自分で推敲する。</p> <p>6 友達と読み合う。</p> <p>7 振り返りチェックシートを活用して振り返り、次時への見通しをもつ。</p>	<p>○主述がねじれたり、一文が長かったりする文例を提示し、1年生に分かりやすい文章にする方法を考えるという課題意識をもたせる。</p> <p>○文例を示すことで、分かりやすく具体的に書くポイントを捉えさせる。</p> <p>○前時に児童が書いた「中」の文章を紹介し、記述の良さに気付かせる。</p> <p>○分かりやすく書くポイントを以下のように示す。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・まとまりに分けて書く。 ・一文を短くする。 ・したこと、言ったことを書く。 ・主語と述語をはっきり書く。正しくつなぐ。 ・つなぐ言ば(じゅんじょ)をつかう。</p> <p>○今まで学習した物語の題名を示し、参考にさせる。</p> <p>○友達に読んでもらうために、どんなことに気を付けて読み返したらよいかを確かめる。</p> <p>・まとまりに分かれているか。 ・漢字や言葉の書き間違いがないか ・句読点、かぎを忘れていないか。 ・主語と述語をはっきりさせて書いているか。</p> <p>・文が長すぎないか。 ・誰が何をしたかが分かるか。</p> <p>○自分と友達の文章の良さに気付いて、認め合えるように促す。</p> <p>○自己評価項目、自由記述を用いて振り返り、次時のめあてを書かせる。</p>	<p>◆知識・技能① 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の表記、句読点の打ち方、かぎの使い方を理解して使っている。</p> <p>★記述シート</p> <p>◆思考・判断・表現② 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えたり、まとまりが分かるように書き表し方を工夫して書いたりしている。</p> <p>★記述シート</p> <p>◆主体的に学びに向かう態度① 学習の見通しをもって取り組んだり、友達とのやり取りを生かしたりして、楽しみながら書いている。</p> <p>★行動観察</p> <p>★記述シート</p> <p>★チェックシート</p>

第三次	6 推敲・共有	1 本時のめあてを確かめる。		◆思考・判断・表現 ③ 友達と互いの考えを伝え合い、自分や友達の考えの良さに気付いたり、自分の考えをはっきりさせたりしている。 ★感想欄 ★チェックシート
		め 友だちのお話のいいねを見つけて、かんそうを書こう。		
		2 記述シートを交換して読み合い、感想を書き合う。	○自分と友達の文章の良さに気付いて、認め合えるように促す。 ○感想を述べる視点を以下のように示す。 ・おもしろいところ ・いいなと思うところ ・びっくりしたところ ・分かりやすい書き方のくふう ○記述シートの最後にコメント記入欄を設け、感想を書くようにする。	
3 お話会で用いる言語活動を選ぶ。	○保護者に依頼し、感想を記入してもらう。 ○「スイミー」の学習等を振り返り、作った物語の表現方法について、自分で適切なものを選択させることで、主体的な学びを促す。 【言語活動例】 ・人形劇 ・紙芝居 ・ペープサート ・音読劇 ・パネルシアター ・絵本			
4 振り返りチェックシートを活用して振り返る。	○単元学習を終えて、身に付けた力やこれからの学習で生かしたいことを言葉で書くことで、自覚を促す。 ○日記など、日常生活でも学習したことが生かせることに気付かせる。			
課外	図画工作	・お話会に向けて、選択した表現方法の準備をする。	○目的意識、相手意識とともに、作業時間を意識させることで、準備できる範囲を自分で判断できるようにする。	
実の場	生活科	・1年生へお話会をする。 ・学習の振り返りをする。	○実の場を振り返ることで、書いて良かったという実感をもたせる。	

7 本時の学習(3/6)

(1)本時のねらい

友達とのやり取りを通して楽しみながら想像を広げ、出来事の順番で構成を考えることができる。

(2) 本時の展開

学習活動	○指導上の留意点	◆評価規準 ★評価方法
<p>1 本時のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>ペアで人形のやり取りをして、お話を考えよう。</p> </div> <p>2 隣同士で、交互にそれぞれの粘土人形を動かしてやり取りをする。</p> <p>3 人形のやり取りのモデルを見て、より良いやり取りの方法を確かめる。(隣同士)</p> <p>4 背景の絵の上で粘土人形を動かし、なりきってやり取りすることを通して、出来事や登場人物の行動、会話を詳しく想像する。 (選んだ相手→選んだ相手)</p> <p>5 組み立てシートを書き、「中」の写真を撮る。</p> <p>6 振り返りチェックシートを活用して振り返り、記述への見直しをもつ。</p>	<p>○一人で人形劇をする児童の様子を示し、お話作りの約束を確かめさせる。</p> <p>○ペアで取り組む良さを確かめさせる。 ・ごっこ遊びのようで、やり取りが楽しい。 ・自分で思いつかないお話になる。</p> <p>○「やりたい」という児童の思いを尊重して、まずやり取りしてみる。その後、どのようにやり取りをすると、上手くいか考えさせる。</p> <p>○児童のよいやり取りを示したり、教師と児童のペアでやり取りのモデルを示したりすることで、以下の点を具体的なやり取りとして確かめさせる。</p> <p>①考えている登場人物、大まかな出来事を伝える。 ②二人で人形を動かして会話する。 ③「いいね」を伝える。 ④分からないところを質問する。</p> <p>○なりきって会話し、質問を受けたり、提案を受けたりして、自分の考えを広げたり、はっきりさせたりできるように促す。</p> <p>○前時の出来事シートを読み返すことで、「中」の出来事を考える参考にできるようにする。</p> <p>○ペアでのやり取りを通してお話が変化して良いこと、やり取り中はメモしないことを確かめさせる。</p> <p>○2 学年の発達段階を考慮して、座席に座ってやり取りさせる。</p> <p>○隣同士だけでなく、好きな相手を選んでやり取りすることで、目的を意識して相手を選び、意欲を維持しながら取り組めるようにする。</p> <p>○好きな相手を選ぶ際は、「中」の場所が同じ人、違う人を選ぶ基準の一つできるように、前時で選んだ場所の一覧を掲示する。 内容の検討台構成</p> <p>○はじめ、中、おわりで各1文程度ずつ登場人物のすることを組み立てシートに書かせる。</p> <p>○文例を示し、組み立てシートに書くことを捉えられるようにする。</p> <p>○組み立てシートに書いた後、「中」の場所の画用紙の上に人形を置いて写真を撮るように促す。</p> <p>○書き出しが難しい児童については、教師がペアでのやり取りについて質問したり、一緒に人形を動かしたりして個別に声を掛け、特に「中」の出来事を書くことができるように促す。</p> <p>○自己評価項目の3点、自由記述欄では特にペアでやり取りをして考えるという学習の方法について振り返り、次時のめあてを書かせる。</p>	<p>◆思考・判断・表現① 自分の考えが明確になるように、絵や人形から登場人物や出来事を具体的に想像している。 ★組み立てシート ★写真 ◆主体的に学びに向かう態度① 学習の見直しをもって取り組んだり、友達とのやり取りを生かしたりして、楽しみながら書いている。 ★組み立てシート ★チェックシート</p> <p>○ <u>おおむね満足できる児童への本時以降の手だて</u> 文例を基に、「はじめ」「中」「おわり」のそれぞれに書くことを確かめ、まとまりに分けて記述する。</p> <p>○ <u>おおむね満足できる状況を目指す児童への本時以降の手だて</u> 「中」の組み立てシートが記入できるように、同じ場所を選んでいる友達の組み立てシートを示してその中から選ばせたり、教師と人形のやり取りをして登場人物の言動を確かめたりして考えさせる。</p>

(3)板書計画

まとまりに分けて、お話を書こう

ペアで人形のやり取りをして、お話を考えよう。

人形でやり取りする。

① おとなりさん

こうすると、うまくいったよ。

●二人で会話 なりきって「海にあそびに行こう。」

●「いいね。」 「それ、おもしろいね。」

●大まかなできごと どう場人物 を 先に伝える。

●しつ問する。 「どこに?」「どうして?」

★出来ごとがかわる◎

★場所が同じ、ちがう人

② すきなあい手

夏に海に行った時に、きれいな貝がらを見つけ。
楽しかった思い出から

海には、ゼリーみたいなくらげがいるんじゃない。
読んだ本から

もっと、こわくて大きなまぐろがくることにしたら、面白いんじゃない。
こうすると、よくなるよ

じゃあ、もう一回はじめから やってみよう。もっと話そうよ。
何度も 詳しく

組み立ててシートを書く。

● したこと



「中」の写真をとる。

ふりかえりを書く。

● ペアでやり取りして考えてよかったこと

8 資料

(1) 文例

① 文例 1



たからもの

木村千文

ねずみのみかんは、野原にすんでいます。ある日、友だちのたねたの家へ行きました。

「ねえ、たねた、今日は、あのどうくつに行きませんか？」

みかんが言いました。

「うん、いいよ。ぼくも、ずと行きたか、たんだ。」

と、たねたがこたえました。

バタンと戸をしめて、二人はどうくつへ出かけました。

どうくつに着きました。二人は、かい中電とうで、てらしながらすすみました。すると、何かが光りました。

「き、とほろろだよ。わたし、ほしい。」

みかんが近づくと、光がとぎやましました。それは、大きなドラゴンでした。ほろろのように光っていたのは、ドラゴンのうちこぶさだけでした。

「よかたうそのうちこぶさ、ううだいい。」

みかんがたのみました。ドラゴンが首をよこにふたつので。

「しりとりで、わたしがたならいいい。」

みかんが聞きました。今度はドラゴンがうなずいたので、二人でしりとりをしました。

まけたドラゴンは、みかんに、きれいなうづを、まよいくれました。

「ほくたち、もう帰らなから。」

たねたがつぶやきました。二人は、ドラゴンのせ中じの、て家へ帰りました。家に着くと、みかんは自分のたからばこの中に、ドラゴンのうちこぶさを見ました。そして、たからばこをだいて、こはんと食べずに、ねてしまいました。



海のおつかい

木村 千え

夏のある日のことです。ねずみの兄弟

はお母さんにおつかいをたのまれました。

「西の海にある海りんごをとってきて、カ

レーに入れてね、おいしいの。」

お母さんが言いました。

「分かったよ、行って来るね。」

ネズミが答えました。妹のミニミといはに西の海へでかけました。

二人は、西の海に着きました。かにが岩の間から出てきたので、ネズミがたすねました。

「海りんごって知ってる。」

「海りんご。そんなの、知るもんか。」

かにはまた、岩のすき間にかくれました。海に入ると、ゼリーみたいになくらがながれてきました。

かくれんぼ上手なカレーも見つけました。しかし、だれも海りんごを知らませんでした。

かめが「びよ、海のそこから近づいてきて、言いました。

「海りんごをおさがしたと、お聞きしましたか。」

よからたら、わたしがあんないします。」

かめにつけて行くと、とつぜん、大きな木が見え

ました。光るりんごがなっています。ネズミは、

そのビー玉のような実を手にとって、リュックに入れました。

二人はかめにおれいと言って、家に帰りました。

「わあ、きれいな実。ありがとう。」

お母さんがだましめてくれました。お母

さんのいいにおいとカレーのいいにおい

がしました。

そのばん、二人はカレーを二はいもお

かありして食べました。そして、二人はし

あわせな気持ちでねむりました。

(2) 資料

① 登場人物シート

野原にすんでいる

名前

男の子
女の子

男の子
女の子

名前

とう場人物シート

番号前

② 出来事シート

出来事シート

野原

空

土の中

海

番号前

③ 組み立てシート

おわり

中


はじめ

しゃしんをとる

組み立てシート

番号前

④記述シート
表面



A colorful illustration of two mice in a lush green field. One mouse is wearing a blue shirt and the other is wearing an orange shirt. They are standing near a small stream that flows through the field. The background shows rolling green hills under a blue sky.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

お話を読んで、おもしろかったところ、くふうしてよかったなと思うところについて、かんそうを書いてください。

裏面



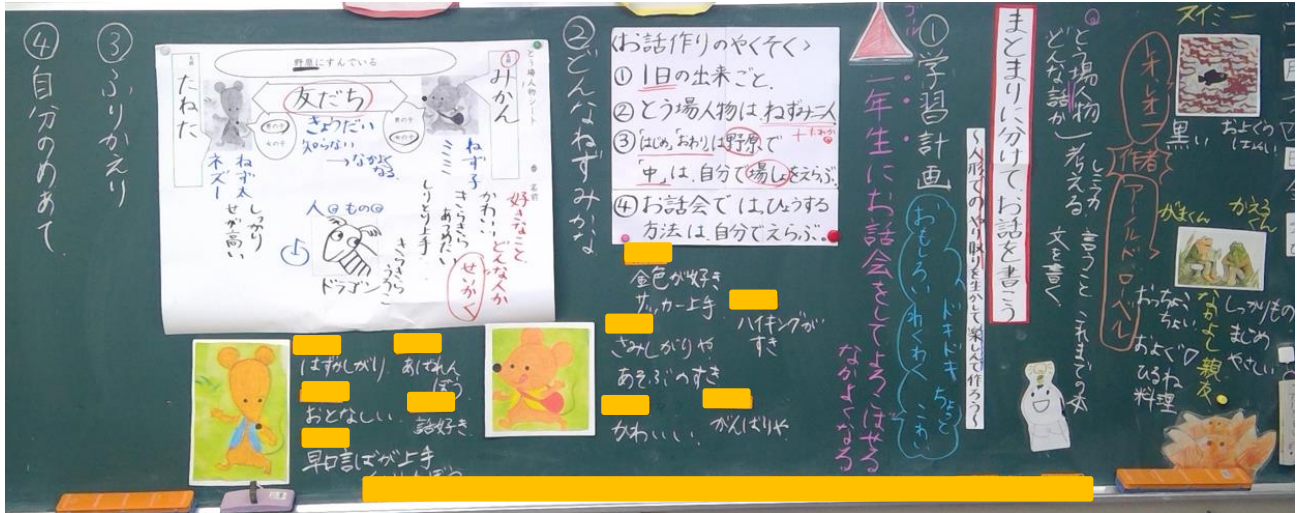
A colorful illustration of two mice in a lush green field. One mouse is wearing a yellow shirt and the other is wearing a red shirt. They are standing near a small stream that flows through the field. The background shows rolling green hills under a blue sky.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

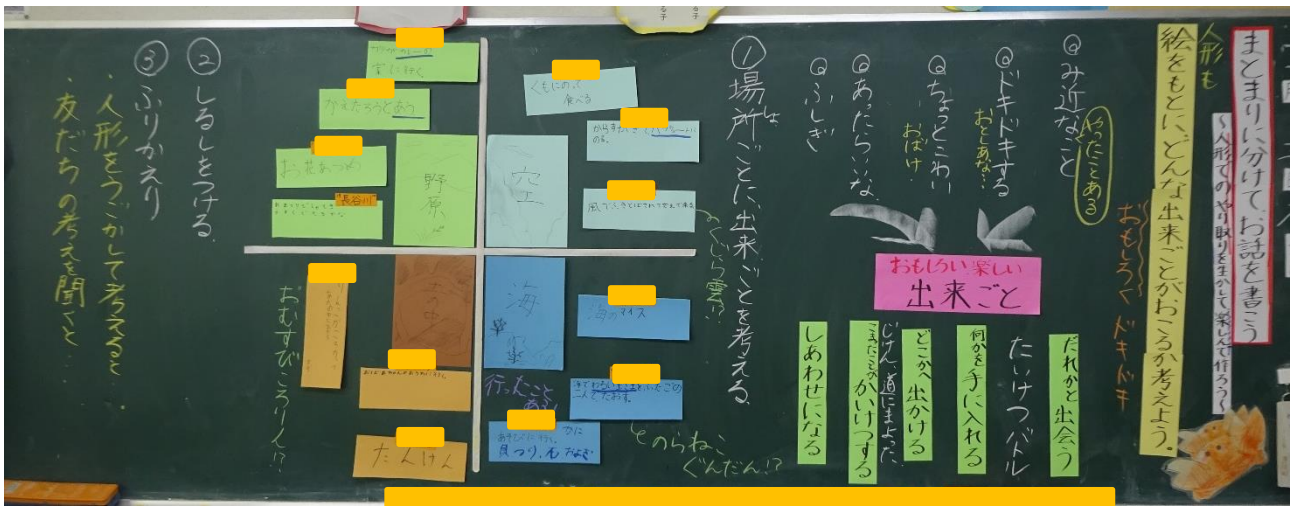
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(3)板書

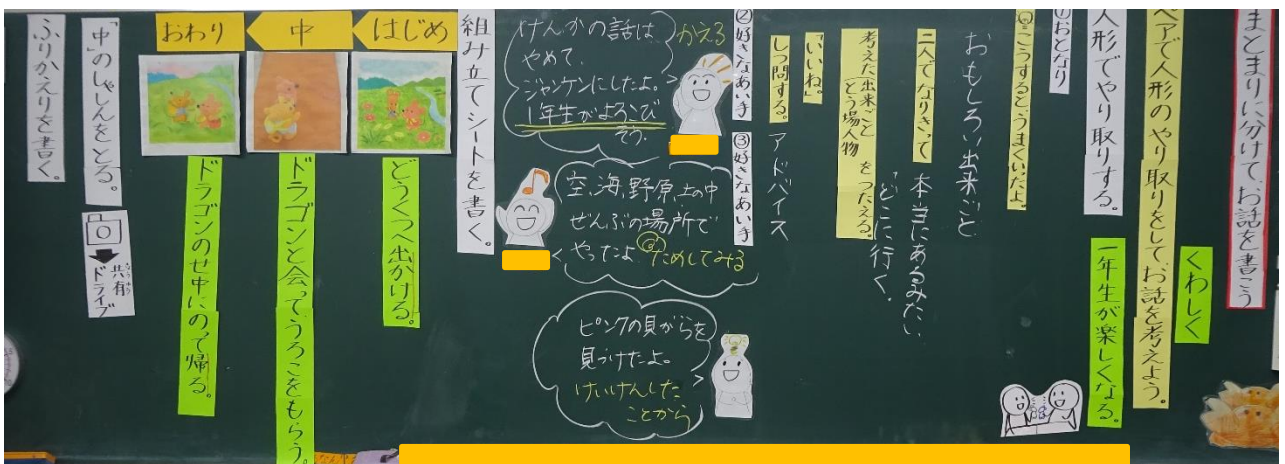
1 時間目



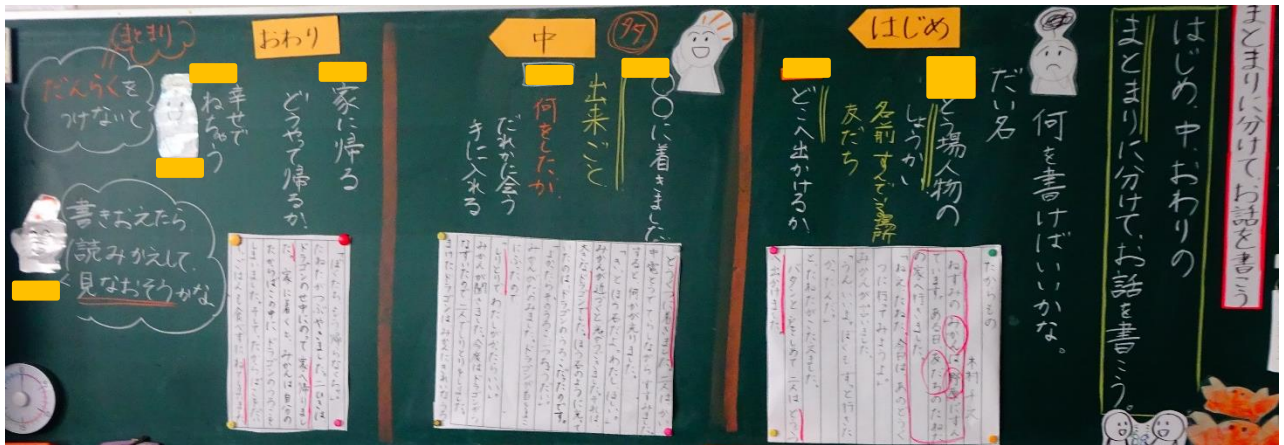
2 時間目



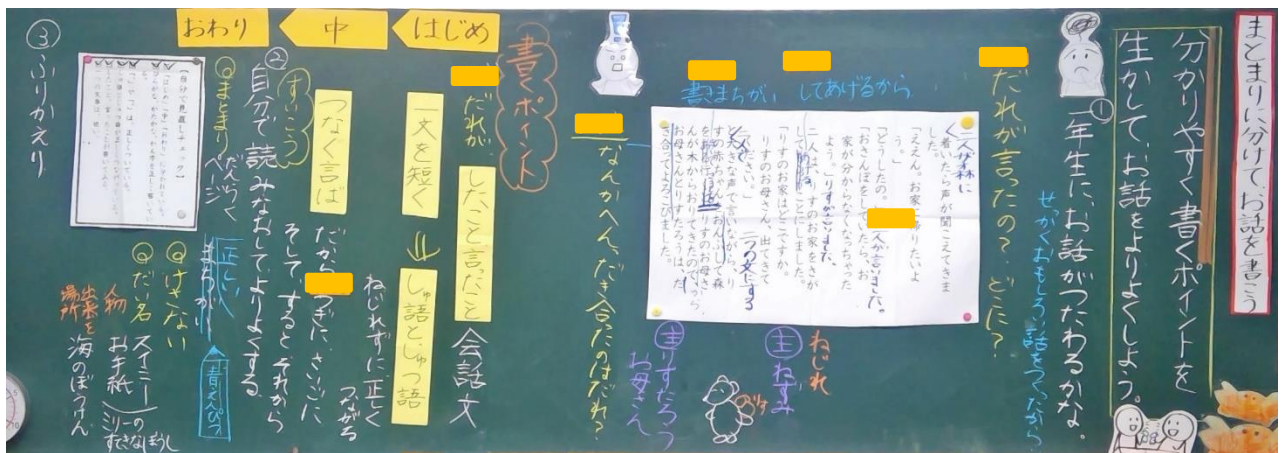
3 時間目



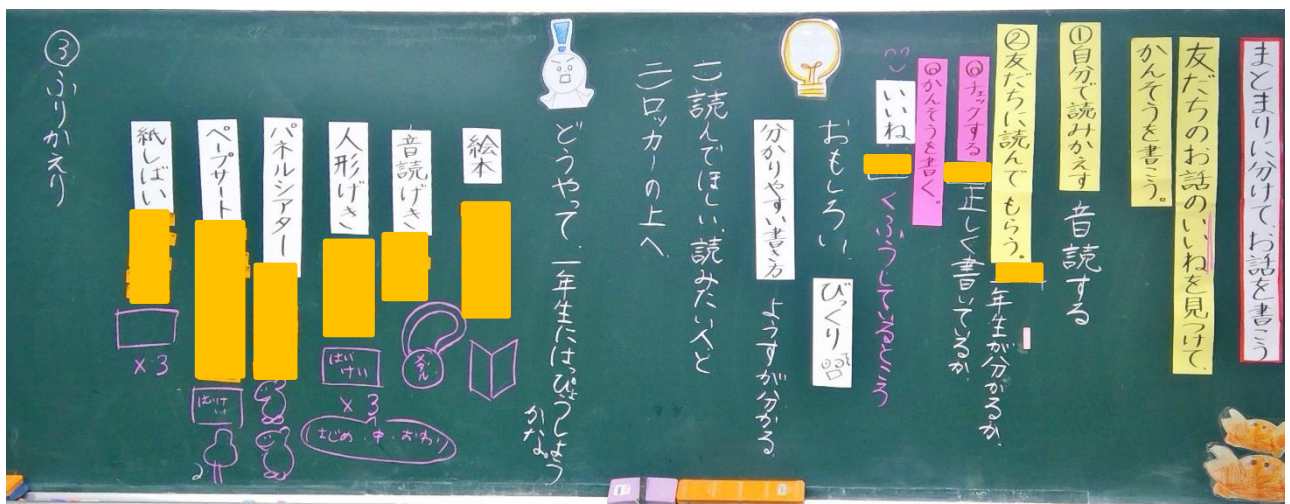
4 時間目



5 時間目



6 時間目



(4)振り返りチェックシート

三時間目

め ペアで人形の やり取りをして、
お話を考えよう。

め

ペアで ねずみに なりきって
やり取りできた。

どんなできごとがおこるか ぐたいてきに
考えた。

「中」のしやしんを とった。

五時間目

番 名前

め 分かりやすく書くポイントを生かして、
お話を よりよくしよう。

め

分かりやすく書く ポイントが
分かった。

ポイントを生かして 書きくわえた。

四時間目

め はじめ 中 おわりに 分けて
お話を書こう。

め

「はじめ」「なか」「おわり」のまとまり
に分けて お話を書いた。

自分の 文しよを 読みかえして
たしかめた。

六時間目

め 友だちのお話の 「いいね」を見つけて、
かんそうを書こう。

め

友だちの「いいね」について、かんそう
を書いた。

一年生に発表する 方ほうをきめた。

<p>お話会ではっぴょうする方法</p>	<p>じゅんぴするもの など</p>
----------------------	--------------------

<p>単元学習を終えて</p>													
-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番名前

